

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【公表番号】特表2014-521015(P2014-521015A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-520617(P2014-520617)

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/057 (2006.01)

F 0 2 C 7/042 (2006.01)

F 0 2 C 7/055 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/057

F 0 2 C 7/042

F 0 2 C 7/055

F 0 1 D 25/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月11日(2014.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸気された空気（A）を浄化するための少なくとも 1 つのフィルター（32、34）を備える固定式ガスタービン（10）を運転するための方法（39）であって、

前記フィルターでの圧力損失をなくすために、断続的に、部分的にあるいは完全にフィルターに通されていない外気（A）が前記固定式ガスタービン（10）に流入することを特徴とする方法（39）。

【請求項 2】

周波数維持のため、および／または、前記ガスタービン（10）の動力出力を増大させるために実行される、請求項 1 に記載の方法（39）。

【請求項 3】

フィルターに通されていない外気（A）は、予め定められた時間以下の期間にわたって流入する、請求項 1 または 2 に記載の方法（39）。

【請求項 4】

フィルターに通されていない外気（A）の吸気が終了すると、圧縮機（12）が洗浄される、請求項 1、2 または 3 に記載の方法（39）。

【請求項 5】

固定式ガスタービン（10）の取り込んだ空気（A）のための吸気ダクト（30）であって、前記吸気ダクト（30）内に配置され、前記吸気ダクト（30）に流すことができる前記取り込んだ空気（A）を浄化するための、少なくとも 1 つのフィルター（32、34）を有する吸気ダクト（30）において、

前記フィルター（32、34）もしくは複数のフィルター（32、34）を迂回するためのバイパス、および／または、前記フィルター（32、34）の下流に配置された、少なくとも 1 つの、閉じることができる開口部が、外気（A）を入れるために前記吸気ダク

ト（３０）の壁部に設けられていることを特徴とする吸気ダクト（３０）。

【請求項６】

前記閉じることができる開口部がフラップ（３６）として形成されている、請求項５に記載の吸気ダクト（３０）。